



京都病院

感染対策の取り組みについて

当院では、安心して皆様に医療を受けていただけるよう、以下の感染対策を実施しています。

院内での感染症の発生をなくすために、患者さんや、ご家族お見舞いの方にお願ひすることもありますので、ご理解の上、ご協力をお願いします。

1. 院内感染対策に関する基本的な考え

当院は、感染防止対策に病院全体で取り組み、病院に関わる全ての人たちを感染から守るために、標準予防策を基本とした感染対策を遵守しています。また、病院内外の感染症情報を収集し、院内感染の危険性および発生に迅速に対応します。院内感染発生の際には、拡大防止のため原因の速やかな特定、制圧、終息をはかり感染対策上の不備や不十分な点を改善します。

2. 院内感染対策に係る組織体制、業務内容

当院における感染防止対策に関する意志決定機関として院内感染対策委員会を設置し、毎月会議を行い、サーベランスによる感染発生動向の監視、感染対策の質向上の取り組み等の感染防止に関わる事項を検討します。また、感染対策を推進するための感染対策部門を設置し、感染対策の実務を行う感染対策チーム（ICTチーム）を配置しています。ICTチームは医師・薬剤師・検査技師・看護師からなり、週1回のラウンドを行い感染対策の問題に迅速に対応しています。患者治療ケアにおける感染対策、環境衛生に努めています。

3. 抗菌薬適正使用のための方策

耐性菌の予防のために広域抗菌薬等に指定抗菌薬を定め、適切な抗菌薬の使用に努めます。

4. 他の医療機関等との連携体制

感染対策の強化、医療関連感染発生時には、通常から協力関係にある他医療機関や保健所と速やかに連携対応をします。



病院長